

## グアテマラ内政・外交(2007年3月)

平成 19 年 4 月  
在グアテマラ日本国大使館

### 1. 概要

2月に発生した中米議会議員殺害・同容疑者殺害事件以降、対グアテマラ主要援助国を含む国内外の関心が治安問題に集中するなか、ベルシェ大統領は、国家文民警察の綱紀粛正・機能強化に向けた新たな取り組み「国家治安システム」を発表するなど、問題解決に懸命な姿勢を見せたが、国民の間では治安状況に対する不安や政府への不信感が募っており、国会でもビエルマン内務大臣に対する厳しい責任追及が続いた。選挙を控え政争の具にされることを嫌った同内務大臣は、ベルシェ大統領の慰留を押し切り辞任するに至った。世論調査では、与党 GANAに対する批判が強く、GANAは次期選挙で勝てないと回答したのは約8割に上った。

外交面では、第 48 回米州開発銀行(IDB)総会の当地開催、ファン・カルロス一世スペイン国王、ブッシュ米大統領、バチエラ・チリ大統領の当国公式訪問など、重要行事が目白押しの月であった。我が国からは、田中和徳財務副大臣がIDB総会出席のため当国を訪れたが、短期間の滞在であったにも拘わらず、ベルシェ大統領を表敬訪問し、邦人企業・援助関係者等との懇談会に出席するなど精力的な活動を行った。

### 2. 内政

#### (1) 時期大統領選挙他に関する世論調査

(Vox Latina 社が9-17 日に実施。対象:全国各地の 18 歳以上の男女 1,200 人)

大統領選挙で誰に投票するかとの問い合わせでは、第 1 位の国民希望党コロン候補(21.23%)と第 2 位の愛国党ペレス・モリーナ候補(10.52%)との差は 10.71%。第 3 位は国民大連合ジャマティ候補(7.54%)で第 4 位はメンチュウ候補(2.18%)。「未定/無回答」は未だ 50.19%を占める。なお、国民の最も懸念する問題として、先般の中米議会議員殺人事件の影響もあってか、治安問題(63.58%)が失業問題(8.67%)等その他を圧倒した。与党 GANAに対する批判は強く、79.3%が次期選挙でGANAは勝てないと回答した。

#### (2) 治安関係

##### (イ)「国家治安システム」の立ち上げ

6日、ベルシェ大統領は、治安担当各機関の連携・機能回復を目的とする包括的制度

「国家治安システム(SNS)」創設を発表。SNSは、大統領府及び副大統領府の他、内務省、外務省、国防省より構成される「国家治安会議(CNS)」が中心となって推進され、国家文民警察の機能強化・綱紀粛正(監査制度改革や警官採用基準改正等)、治安に関する国際協力獲得の実現等を目指す。

#### (ロ)国家文民警察(PNC)改革の議論

国内の治安が改善せず、中米議会議員殺害事件等、警官による凶悪・悪質な犯罪が後を絶たない状況下、1日、ステイン副大統領は、現在政府部内で、腐敗警官の追放・処罰・綱紀粛正を目的とした案として、①国家文民警察(PNC)の国軍化も視野に入れた軍とPNCの連携強化、②腐敗警官の迅速かつ厳格な処分に向けた行政府(内務大臣)への処分権限の一元化(裁判所による承認手続きの廃止)等が議論されている旨明らかにした。

#### (ハ)ビエルマン内務大臣の辞任

治安問題に関するビエルマン内務大臣の責任を追及していた国会は、20日、賛成多数で同大臣の不信任決議案を可決、ベルシェ大統領に対して同大臣罷免を求めた。26日、大統領は、閣議の結果、右罷免要求を拒否する旨発表したが、同大臣自身が辞任を強く希望したため、最終的に大統領もこれを了承、同内務大臣の辞任が確定した。27日には、「治安に関する大統領諮問委員会(CAS)」委員のデ・トレビアルテ女史が新大臣に就任した。

### 3. 外交

#### (1)第48回米州開発銀行(IDB)総会の当国開催

16-20日、当地にて第48回米州開発銀行(IDB)総会が開催された。我が国からは田中財務副大臣が出席し、開会式にはグアテマラ、チリ、エルサルバドル、ホンジュラスからの大統領及びベリーズ首相も臨席。今次総会では、再生可能エネルギー、水・公衆衛生、防災、債務救済などにつき議論が行われた。また、これと並行して、パナマ運河拡張に関するセミナーや国際ビジネスフォーラム等も開催された。全体として約6,000人が参加。

#### (2)田中財務副大臣の当国訪問

IDB総会出席のため当国を訪問した田中財務副大臣は、滞在中、同総会出席の他、ベルシェ大統領表敬訪問及びベルベナ当国財務副大臣との会談を行った。ベルシェ大統領との間では、二国間関係全般、国際場裡における協力、両国の歴史・文化等につき意

見交換が行われ、ベルシェ大統領からは、我が国経済協力に対する謝意が表明された。その他、田中財務副大臣は、当国駐在の邦人企業・援助関係者等との懇談会にも出席した。

#### (3) フアン・カルロス一世スペイン国王の当国公式訪問

(イ) 28-30 日、スペイン国王夫妻が当国を公式訪問。滞在中、同国王は、ベルシェ大統領との会談、スペイン商工会議所の移転記念行事への出席、アンティグア市(スペイン植民地時代の旧首都;世界遺産)訪問等を行った。今回、スペインによる中米経済統合銀行を通じた当国中小零細企業対象マイクロ・クレジット(10 百万ユーロ)の創設、及び 2005 年のハリケーン・スタン災害復興に関する追加支援(4百万ユーロ)が新たに決まった。

(ロ) 同国王に随行したモラティノス西外相は、ローセンタール外相との外相会談で、グアテマラの治安、国際養子縁組、スペインからの投資、中米・EU連携協定等に関する意見交換を行った。今回、両外相間では、上記(イ)のスペインからの各種援助に関する署名式の他、相手国で罪を犯した者の自国での服役を可能とする「刑を言い渡された者の移送に関する二国間協定」の署名式も行われた。

#### (4) ブッシュ米大統領の当国公式訪問

11-12 日、ブッシュ米大統領は中南米歴訪(ブラジル、ウルグアイ、コロンビア、グアテマラ、メキシコ)の4ヶ国目として当国を訪問。ベルシェ大統領との会談では、移民、治安・麻薬、DR-CAFTA、国際養子縁組、中米統合他につき意見交換が行われた。会談後の共同記者会見で、ブッシュ大統領は、米国内での不法移民摘発は法律に則って行われており、原則として不法滞在者に対して庇護や市民権が付与されることはないと述べる一方で、米議会における、一時的労働許可の付与や入国条件緩和などを含む包括的移民法改正に期待を寄せた。

#### (5) バチエレ・チリ大統領の当国公式訪問

18-19 日、バチエレ・チリ大統領が当国を訪問、ベルシェ大統領と会談を行った他、当地で開催された第 48 回IDB総会の開会式に出席した。二国間会談では、教育、治安、科学技術、二国間FTA等につき意見交換が行われ、当国治安問題に関しては、バチエレ大統領より、チリ警察を通じた研修・技術協力の意向が示された。その他、IDB総会では、チリ・IDB間の合意に基づく「中米・ドミニカ(共)技術革新基金」創設が言及された。

#### (6) 第3回米州先住民サミットの当国開催

26-30日、当国チマルテナンゴ県で第3回米州先住民サミットが開催され、米州各国より先住民族約300団体(約1,800名)が参加。「権力に対するレジスタンス運動」をスローガンに、土地所有、天然資源、先住民差別、民族自決権、政治参加、司法へのアクセス等の各分野について意見交換が行われた。なお、リゴベルタ・メンチュウ女史、エボ・モラレス・ボリビア大統領は、日程上の都合を理由に、今次サミットには出席しなかった。

#### (7) 中米議会(PARLACEN):常会のニカラグアでの開催

中米議会はグアテマラに在り、通常、本会議(毎月2日間程度)は当国で開かれるが、先般の同議会議員殺害事件及び同容疑者殺害事件の発生を受けて、当国での右開催の安全性について各方面から懸念の声が高まってきた。その結果、5-6日の常会については各の中米議会議員間の協議により、臨時にニカラグアで開催されることとなった(4月の常会については未定)。ニカラグアからは、中米議会の同国正式移設の提案も出ている。